



学校だより

1月号(第541号)
令和3年1月7日
横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづける すみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

夢・目標をもって一步一步前進を！～人が想像できることは、いつか実現できる～

校長 吉田 茂樹

あけまして おめでとうございます



新しい年を迎えました。例年より1日早く6日より授業が再開し、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。12月の授業参観では、新型コロナウイルス感染予防対策として新たな参観形式を試行しましたが、保護者の皆様の多大なご協力を得て無事に実施することができました。多くの方に子どもたちの活動の様子を見ていただくことができてよかったです。ご協力、ありがとうございました。

さて、子どもたちは、新年を迎えて気持ちを新たに今年の目標を立てていることと思います。目標を立てるときには、目標が実現したときの自分を想像することが大切だと言われています。そして、目標に向けて必要なことを具体的に示し、一步一步取り組んでいくことで目標達成が近づいていきます。12月に、小惑星探査機「はやぶさ2」が「小惑星りゅうぐう」で採取した試料の入ったカプセルが無事に回収され、神奈川県相模原市にあるJAXA宇宙科学研究所に運ばれました。「りゅうぐう」には炭素や水を含む岩があると考えられており、試料の分析から太陽系や生命の起源に迫ることが期待されています。「りゅうぐう」は、地球から約3億km離れたところに位置しています。(地球と太陽の間は、約1億5千万km)「はやぶさ2」の6年間での総飛行距離は、52億kmを超えています。それだけの旅をして、直径約900mの小さな「りゅうぐう」に僅か60cmの誤差での着地や試料採取を成功させるという夢物語のようなことが実現されたのです。プロジェクトリーダーの津田教授のコメントがとても印象的でした。

「宇宙探査は事前に答えが分からない。だから、答えが解けるチームではなく、問題をつくれるチームを目指した。」「情報が届くまで探査機本体が対応できるよう、高度な自立機能を持たせた。」「故障を前提にして設計してある。」まさに、初代はやぶさの経験を存分に生かし、先に課題を見つけ、どう課題を解決していったらよいかを考え、必ずできると信じて一步一步、努力を積み重ねてきた成果だと言えます。

「はやぶさ2」に限らず、「ドラえもん」に出てくる初期の秘密道具は、現在次々に実現しています。子どもたちには、夢を目標に変え、実現に向けて一步一步、前進してほしいと願っています。また、人間の英知や絆により、新型コロナウイルスを乗り越えて明るい未来がきっと来ると信じています。そのために、学校でも今できることを着実に進めていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。